

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道施設整備事業調査費 (水道施設整備事業調査費含む)		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設についての危機管理体制、耐震化状況、施工技術の動向の実態把握、水道施設の資産管理に関する調査等を行い、今後の水道事業のあり方について検討するもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	水道施設設置状況・耐震化基礎調査、水道施設整備施工技術動向調査、水道におけるアセットマネジメント導入等に関する調査、長期的な水需給を考慮した広域的な水道施設の再構築ガイドライン策定等調査費、水資源開発施設の有効利用等に関する調査、浄水処理施設等の最適化に関する調査の実施。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	38	37	33	32	32	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	38	37	33	32	32	
		執行額	33	35	31			
		執行率(%)	86.8%	94.6%	93.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	耐震化計画策定率	成果実績	%	22	集計中	集計中	100	
		達成度	%	22	集計中	集計中		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査件数	活動実績 (当初見込み)	件	9 (6)	9 (6)	7 (6)	— (6)	
単位当たりコスト	4.2(百万円/件)		算出根拠	水道施設整備事業調査費執行額/調査件数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水道施設整備事業調査費	30	30					
	水道施設整備事業調査諸費	2	2					
	計	32	32					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	水道施設の整備を適切に実施するため各調査を実施することは全国一律に行う必要があり、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	調査実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	当初見込みを上回っており、見込みに合ったものになっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果実績及び活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。	
点検結果	<p>支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できており、内容についても仕様に見合った成果品とすべく、業務実施過程において適宜協議している。</p> <p>水道施設の整備を適切に実施していくためには、効率的・体系的な管理手法の検討や施工技術の動向把握、水道施設の資産管理等に関する調査が不可欠である。なお、調査のテーマについては、水道施設における耐震化促進のための調査、アセットマネジメント導入や長期水需給バランスに関する調査など、適宜見直しを図っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	水道施設整備事業調査費については、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	342	平成23年行政事業レビュー	310

厚生労働省 29百万円

〔 調査仕様書の作成、請負業者の指導監督 〕



【総合評価入札・一般競争入札】

A. 民間業者(2) 29百万円

〔 調査実施 〕

対象外(事務費) 2百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. (株)日水コン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費等	人件費、諸経費等	27.3			
計		27.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.民間業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	東日本大震災復興方針検討業務		3	49.4%
2	(株)日水コン	水道施設等設置状況等基礎調査業務		1	94.9%
3	(株)日水コン	水道におけるアセットマネジメント取組促進等業務		1	92.6%
4	(株)日水コン	浄水施設等の最適化等に関する調査	27.3	1	95.5%
5	(株)日水コン	水道事業にかかる基本統計等整理事業		1	73.5%
6	(株)日水コン	水道事業の再構築に関する基礎調査		1	54.5%
7	(株)建設技術研究所	水資源開発施設の有効利用に関する調査	1.9	1	54.5%
8					
9					
10					